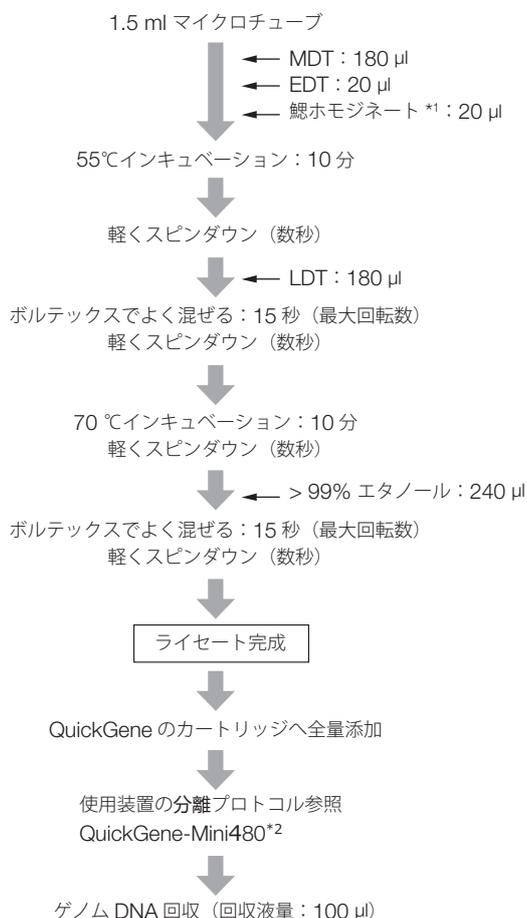


DH-1

# コイヘルペスウイルス (KHV) 感染魚の鰓 (エラ) からのゲノムDNA分離

## プロトコル



\*1  
1.5 ml マイクロチューブ  
← アルコール固定鰓  
← 鰓 : 10 mg  
← TE : 50 µl  
ベッスルを用い手でホモジナイズ

\*2 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他QuickGeneシリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

## 結果

### 電気泳動図

データなし

### ゲノム DNA の収量

	No.	収量 (µg)
健康魚	1	4.24
	2	4.07
感染魚	1	0.67
	2	1.28
	3	2.41
	4	2.35

## ■ タンパク質の混入：A260/280

	No.	A/260/280
健康魚	1	2.19
	2	2.27
感染魚	1	2.04
	2	2.39
	3	2.10
	4	1.99

## ■ カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

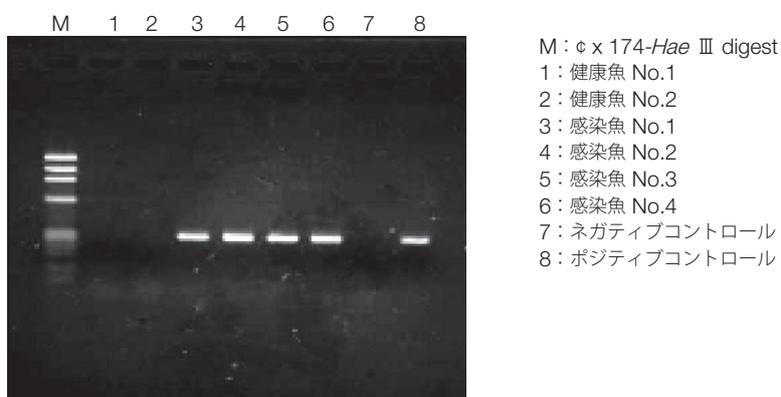
## ■ その他

## ● PCR

QuickGene-810 システムを用いて分離した DNA をテンプレートとして PCR を行った。

PCR の方法は、Yuasa et al, Improvement of a PCR method with the Sph 1-5 primer set for the detection of Koi herpesvirus (KHV), Fish Pathology, 40, 37-39 (2005) に従って行った。

プライマー：Sph I -5F, Sph I -5R



この PCR の結果、感染魚 No.1-4 でポジティブコントロールと同様の増幅産物が確認された。

## ■ 共通プロトコルサンプル

データなし